

キックオフイベント オンラインセッション開催報告

イベント名 ワークショップ4
博士学生のためのキャリアガイダンス
～アカデミアでも企業でもどこでも可能性は無限大～

企画
JAAS 研究環境改善ワーキンググループ(キャリアパス検討ユニット)

開催日時 6月21日(火) 15:00～17:00

登壇者など

【座長】

仲 美凧(横浜国立大学大学院 環境情報学府 自然環境専攻 博士課程前期1年(東京大学 先端科学技術研究センター 森研究室))

【演者】

深澤 知憲(JAAS 研究環境改善WGキャリアパス検討U, 株式会社エマージングテクノロジーズ)

土屋 太祐(日本学術会議 若手アカデミー 学術の未来を担う人材育成分科会, 新潟大学 人文社会科学系(経済科学部))

引間 和浩(JAAS 研究環境改善WG・リサーチWG, 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系)

三須 敏幸(広島大学 グローバルキャリアデザインセンター)

柿野 耕平(学生団体BEAST, 九州大学大学院 生物資源環境科学府 博士後期課程2年生)

参加人数

120名

報告内容(自由に記述してください)

本セッションでは、まず深澤氏より、企業就職やアカデミックキャリアを目指す博士学生、さらに自然科学系に加え人文社会科学系の博士学生が就職活動を行う際に考え得る様々な選択肢についての網羅的な解説と、企業、大学それぞれに共通する博士人材への期待について講演をいただきました。続いて三須氏より博士号取得者のキャリアパス問題に係る国際的な状況とキャリア支援の事例として広島大学における取組をご紹介いただき、さらに引間氏から自然科学系、土屋氏から人文社会科学系のアカデミックキャリアについて、一つの例としてご自身のキャリアをご紹介いただきました。柿野氏からは、柿野氏が副代表を務める学生団体で収集した現役博士学生が持つ不安や疑問を提示していただき、各演者から情報提供やアドバイスがなされました。さらに、座長の仲氏からも修士学生目線からの質問や女性特有の不安、参加者からも「失敗できない日本社会」についての不安や問題提起などもあり、活発な議論が展開されました。